



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 10 日

上場会社名 レシップ株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 7213 URL <http://www.lecip.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山口 芳典 TEL 058-323-7647

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	3,832	13.5	95	741.2	104	—	50	170.6
19年3月期第1四半期	3,377	—	11	—	9	—	18	—
19年3月期	17,572	—	1,189	—	1,191	—	668	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	7	98	—	—
19年3月期第1四半期	2	95	—	—
19年3月期	104	68	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	10,675		4,387		41.1	686	51	
19年3月期第1四半期	9,597		3,756		39.1	587	78	
19年3月期	11,533		4,408		38.2	689	82	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	181	△93	△678	492
19年3月期第1四半期	△17	△98	△297	461
19年3月期	925	△429	△303	1,074

2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金	
	第 1 四半期末	
	円	銭
20 年 3 月期第 1 四半期	—	—
19 年 3 月期第 1 四半期	—	—

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中 間 期	7,900	5.4	225	△7.7	220	△11.0	114	△14.0	17	83
通 期	17,770	1.1	1,200	0.9	1,190	△0.1	690	3.1	107	97

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成 19 年 5 月 15 日付け当社「平成 19 年 3 月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在する不確定要因や、この後の事業運営における状況の変化等により、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰等の懸念材料があったものの、企業収益の改善による好調な設備投資と雇用環境の改善に加えて、個人消費が堅調に推移し、順調な回復基調を維持しました。

このような状況の中、当社グループは平成 19 年 4 月より新中期 3 ヶ年計画 PG2009 プラン (PG は Powerful Growth の略です。) により、当社グループのコア・コンピタンスに更に集中し、技術先行企業としての基盤を確固たるものとするとともに、収益率の向上に努めていく戦略をスタートさせました。

当社グループの主要事業であります輸送機器事業におきましては、IC カード関連製品の売上げが好調に推移いたしました。首都圏において平成 19 年 3 月よりバス・鉄道 IC カードの相互利用サービスが開始され大きな反響を呼ぶとともに、当社が開発・製造パートナーとして参画するバス部門の共通読み取り装置ユニットが大きく伸長することとなりました。また、併せて同ユニットを搭載したバス用運賃収受システムの販売が好調に推移いたしました。その他、沖縄地区、広島地区でのバス用運賃箱の納入が進みましたことも、大きく売上げに寄与いたしました。

一方、産業機器事業におきましては、連結子会社での小型液晶パネルの組み立て生産が、客先の事業の再編の影響などにより減少いたしましたものの、大規模量販店やコンビニエンス・ストアチェーンなどでの急速な電子マネーの普及により、物販共用読み取り端末の受注が大きく伸張いたしました。また、環境への積極的な取り組みからバッテリー式フォークリフト用充電器の需要が拡大いたしましたほか、ケーブルテレビ用無停電電源装置も拡販努力が奏功し、売上高を伸長させることができました。

しかしながら、S&D 事業におきましては、国内での巻線式ネオン変圧器の需要減少に歯止めがかからず、売上高を減少させましたほか、前第 1 四半期に好調でありました屋外蛍光灯用電子安定器の販売が減少いたしました。

この結果、当第 1 四半期の業績は、売上高 38 億 32 百万円 (前年同期比 13.5%増)、営業利益 95 百万円 (前年同期比 741.2%増)、経常利益 1 億 4 百万円 (前年同期比 1,035.4%増)、四半期純利益 50 百万円 (前年同期比 170.6%増) となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期における総資産は、前連結会計年度末に比べ 8 億 57 百万円減少いたしました。主な増減は、流動資産では現金及び預金で 5 億 82 百万円の減少、受取手形及び売掛金で 8 億 61 百万円の減少、棚卸資産で 5 億 51 百万円の増加などがありました。

また、流動負債では支払手形及び買掛金が 3 億 78 百万円増加いたしました。1 年以内返済予定長期借入金を含めた短期借入金が 5 億 14 百万円減少いたしました。固定負債では長期借入金が 41 百万円減少いたしました。

純資産では、利益剰余金の減少が 44 百万円ありましたが、その他有価証券評価差額金で 24 百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べ 21 百万円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期は前第 1 四半期と比較して増収増益となりましたが、概ね当初の計画どおりに推移しており、平成 19 年 5 月 15 日に開示いたしました中間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用については法定実効税率による簡便な方法を採用しております。

その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(減価償却方法の変更)

当事業年度より法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得する有形固定資産については、改正法人税法に規定する減価償却費を計上しております。

また、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち償却可能額までの償却が終了しているものについては、残存簿価を5年で均等償却しております。

これらの変更に伴う当第1四半期の損益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	当四半期末 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	581	612	30	5.2	1,194
受取手形及び売掛金	3,533	4,247	714	20.2	5,109
たな卸資産	1,817	2,139	321	17.7	1,587
その他	614	670	55	9.1	637
流動資産合計	6,547	7,669	1,121	17.1	8,529
II 固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	1,471	1,398	△72	△4.9	1,402
工具器具備品	413	384	△28	△6.9	392
その他	459	488	29	6.3	493
有形固定資産計	2,343	2,271	△71	△3.1	2,287
無形固定資産	89	78	△11	△12.8	83
投資その他の資産	616	655	39	6.3	632
固定資産合計	3,050	3,005	△44	△1.5	3,003
資産合計	9,597	10,675	1,077	11.2	11,533
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	2,767	3,770	1,003	36.2	3,392
短期借入金	302	647	345	114.2	1,168
1年以内返済予定の 長期借入金	163	149	△13	△8.1	143
1年以内償還予定 社債	700	—	△700	△100.0	—
賞与引当金	171	171	0	0.0	366
役員賞与引当金	—	2	2	—	62
製品保証引当金	52	53	0	1.0	52
その他	609	578	△31	△5.1	981
流動負債合計	4,766	5,372	606	12.7	6,167
II 固定負債					
長期借入金	754	598	△156	△20.7	640
退職給付引当金	6	8	1	27.1	7
その他	313	308	△5	△1.7	309
固定負債合計	1,075	915	△159	△14.9	957
負債合計	5,841	6,288	446	7.6	7,124

レシップ(株) (7213) 平成 20 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	当四半期末 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期末)	増 減		(参考) 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	735	735	—	—	735
資本剰余金	719	719	—	—	719
利益剰余金	2,298	2,903	605	26.3	2,948
自己株式	△14	△14	0	1.0	△14
株主資本合計	3,738	4,343	605	16.2	4,388
II 評価・換算差額等					
その他有価証券 評価差額金	66	91	24	36.8	66
為替換算調整勘定	△49	△48	1	△2.4	△46
評価・換算差額等合計	17	43	25	147.7	19
純資産合計	3,756	4,387	630	16.8	4,408
負債、純資産合計	9,597	10,675	1,077	11.2	11,533

(2) 要約連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	3,377	3,832	455	13.5	17,572
II 売上原価	2,625	2,961	336	12.8	13,258
売上総利益	752	871	119	15.9	4,313
III 販売費及び一般管理費	740	775	34	4.7	3,124
営業利益	11	95	84	741.2	1,189
IV 営業外収益	17	21	4	24.6	72
(うち受取利息及び配 当金)	0	1	0	14.0	2
V 営業外費用	19	12	△6	△34.2	70
(うち支払利息)	9	8	△0	△8.6	39
経常利益	9	104	95	1,035.4	1,191
VI 特別利益	41	2	△39	△95.1	44
VII 特別損失	1	3	2	173.3	29
税金等調整前四半期(当 期)純利益	49	102	53	109.5	1,205
税金費用	30	51	21	71.4	536
四半期(当期)純利益	18	50	32	170.6	668

(3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 (平成19年3月期第 1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	49	102	1,205
減価償却費	101	106	466
賞与引当金の増減額(減少：△)	△159	△173	35
役員賞与引当金の増減額	—	△60	—
製品保証引当金の増減額(減少：△)	△4	0	△4
役員退職慰労引当金の増減額(減少：△)	—	—	62
受取利息及び受取配当金	△0	△1	△2
支払利息	9	8	39
固定資産売却損益等	△0	1	9
売上債権の増減額(増加：△)	844	874	△728
たな卸資産の増減額(増加：△)	△308	△542	△58
仕入債務の増減額(減少：△)	△57	383	559
役員賞与の支払額	△62	—	△62
その他	△8	△72	△51
小 計	403	628	1,470
利息及び配当金の受取額	1	0	1
利息の支払額	△7	△7	△37
法人税等の支払額	△414	△440	△509
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17	181	925
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△137	△88	△442
有形固定資産の売却による収入	3	0	10
関係会社株式の売却による収入	39	—	39
その他	△4	△4	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98	△93	△429
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少：△)	△146	△547	681
長期借入金の返済による支出	△68	△34	△202
社債の償還による支出	—	—	△700
自己株式の取得による支出	△3	—	△3
配当金の支払額	△79	△95	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△297	△678	△303
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1	7	9
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△411	△582	201
VI 現金及び現金同等物の期首残高	873	1,074	873
VII 現金及び現金同等物の期末残高	461	492	1,074